蘇我コミュニティ センター 避難所運営委員会 活動事例紹介

令和6年度地域防災ミーティング



特色のある活動

- 1. 外国人住民へのアプローチ
- 2. 防災イベントへの参加

1. 外国人住民へのアプローチ

避難所運営委員会の組織の中に「外国人支援班」を設置するととも に、地域の外国人の方に避難所開設訓練に参加してもらうことにした。

<経緯>

蘇我コミュニティセンター避難所運営委員会を有する地区は、統計上 200名ほどの外国人住民が居住し、また日本語の専門学校があり留学生 も多数在学しているが、これまで外国人の方を対象とした訓練などを行っ たことがなかった。

しかし、災害時は国籍関係なく被災することになり、平常時からの準備が必要と考え、外国人の方も訓練に参加するよう働きかけた。

1. 外国人住民へのアプローチ

- ・日本語がある程度できる外国人の方が多いものの、言葉の壁がある ⇒地域内で外国語ができる方に協力を要請した
- 生活習慣などの違いなどから、外国から来た方の受け入れ方がわからず、不安を抱く方もいる
 - ⇒外国人の方も災害時にはサポートが必要であることを丁寧に説明し、 また実際に顔を合わせて、お互いに理解を深めた
- どうやってアプローチするか?
 - ⇒近隣の外国籍の飲食店経営者や、日本語専門学校の事務局に声を かけ、避難所開設訓練に参加してもらった

1. 外国人住民へのアプローチ

実際に訓練に参加してもらうと、避難者カードの記入が難しく受付に時間がかかったり、施設内の表示がわからないなど、課題が見つかった。また、実際の避難生活では、さらに課題が見つかることが予想される。

一方で、訓練に参加した外国人の方たちからは、訓練後「次回も参加したい」と話してくれるなど、おおむね良い反応が得られた。

2. 防災イベントへの参加

抽選にチャレンジ!

公式 HP: http://sogacc.ip/

蘇我コミュニティセンターで毎年開催されている防災イベント「まなぼうさい」へ出展した。

<経緯>

これまで、地域住民に避難所運営委員会の存在すら知られていない状況があったため、まずは地域住民に「蘇我コミュニティセンター避難所運営委員会」の存在を役割を知ってもらうことが必要と考え、出展を決定。

「まなぼうさい」での企画

- 能登半島地震等の災害や防災に関するパネル・新聞を展示
- ・防災炊き出し(豚汁・おにぎり・たこ焼き)の販売
- 模擬避難所の設営(段ボールベッド・寝袋・簡易トイレ・テント設置)
- ・防災グッズ・防災レシピの紹介
- ・防災ドローン(東京航空局登録)のデモンストレーション飛行 などを避難所運営委員会で企画・出展しました

子どもや若い世代の住民、普段防災にあまり関心のない方々も 多数来場し、防災に親しんでもらうきっかけになり、避難所運営 委員会のアピールにつながった。





今年は、令和7年3月2日(日)に「まなぼうさい」が開催されます。

蘇我コミュニティセンター避難所運営委 員会は今年も出展します!

どなたでも参加可能ですので、みなさまぜひお越しください。



【千葉市中央区蘇我コミュニティセンター】

千葉市中央区今井 1-14-43 開館 9:00 ~ 閉館 21:00 TEL: 043-264-8331

公式 HP: http://sogacc.jp/ 駐車場 90 台(身障者 4 台) ※公共交通機関をご利用ください。



ご清聴ありがとうございました